

## 2 正社員以外の労働者の仕事に対する意識

### (1) 現在の就業形態を選んだ理由

正社員以外の労働者（出向社員を除く）について、現在の就業形態を選んだ理由（複数回答3つまで）をみると、「自分の都合のよい時間に働けるから」が37.7%と最も高い割合となっており、次いで「家計の補助、学費等を得たいから」が30.5%、「家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから」が25.3%、「通勤時間が短いから」が24.8%などとなっている。前回と比較すると、「正社員として働ける会社がなかったから」18.2%（前回22.5%）などでは前回に比べて低下している。

就業形態別にみると、「パートタイム労働者」では「自分の都合のよい時間に働けるから」が49.7%で最も高く、次いで「家計の補助、学費等を得たいから」の36.4%、「家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから」の33.6%、「契約社員（専門職）」では「専門的な資格・技能を活かせるから」が46.2%で最も高く、次いで「正社員として働ける会社がなかったから」の31.7%、「派遣労働者」では「正社員として働ける会社がなかったから」が37.6%で最も高く、次いで「専門的な資格・技能を活かせるから」の23.8%となっている。

男女別にみると、男女ともに「自分の都合のよい時間に働けるから」がそれぞれ32.6%、40.4%と最も高く、男では次いで「専門的な資格・技能を活かせるから」29.1%、「正社員として働ける会社がなかったから」22.8%となっている。女では次いで「家計の補助、学費等を得たいから」38.3%、「家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから」35.8%となっている。（表15、図5）

表15 性・正社員以外の就業形態、正社員以外の労働者（出向社員を除く）の現在の就業形態を選んだ理由別労働者割合

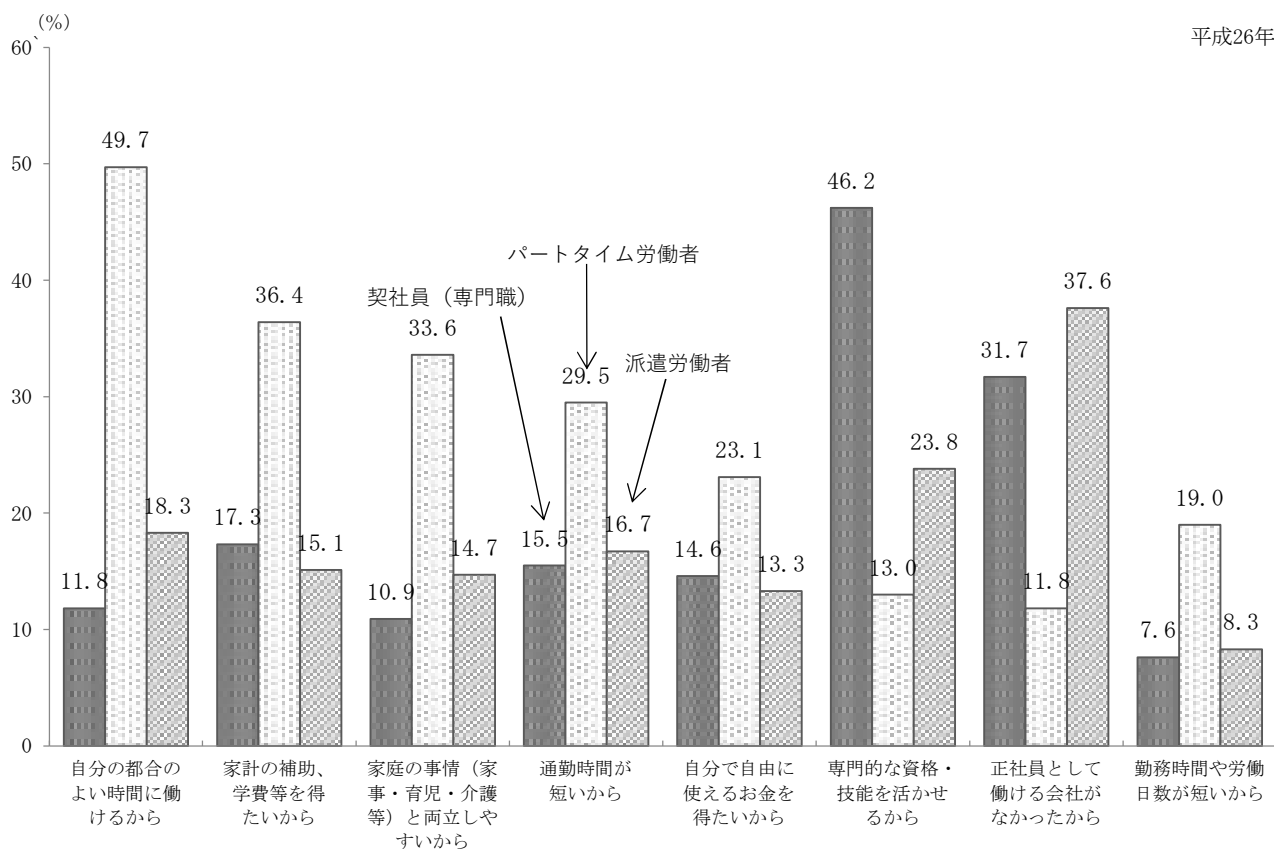
性・正社員以外の就業形態	複数回答3つまで（単位：%）平成26年															
	回答があった正社員以外労働者（出向社員を除く）計	専門的な資格・技能を活かせるから	より収入の多い仕事に従事したかったから	自分の都合のよい時間に働けるから	勤務時間や労働日数が短いから	簡単な仕事で責任も少ないから	就業調整（年収の調整）をしいたいから注2)	家計の補助、学費等を得たいから	自分で自由に使えるお金を得たいから	通勤時間が短いから	組織に縛られたくないから	正社員として働ける会社があったから	家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから	他の活動（趣味・学習等）と両立しやすいから	体力的に正社員として働けなかったから	その他
正社員以外の労働者（出向社員を除く）計	100.0	20.1	8.7	37.7	15.4	8.9	4.6	30.5	20.4	24.8	3.2	18.2	25.3	8.0	3.0	6.2
前回〔平成22年〕	100.0	18.6	8.3	38.8	15.4	9.9	4.8	33.2	21.4	25.2	3.7	22.5	24.5注3)	3.2	5.9	
男	100.0	29.1	10.9	32.6	14.3	14.6	3.6	16.0	19.2	21.4	5.1	22.8	5.6	10.7	3.1	9.3
女	100.0	15.3	7.5	40.4	15.9	5.9	5.1	38.3	21.0	26.5	2.3	15.8	35.8	6.6	2.9	4.5
正社員以外の就業形態																
契約社員（専門職）	100.0	46.2	21.0	11.8	7.6	4.9	1.8	17.3	14.6	15.5	3.8	31.7	10.9	5.7	1.9	11.3
嘱託社員（再雇用者）	100.0	44.8	13.8	9.6	12.3	9.3	4.9	26.4	12.8	13.3	2.8	15.2	7.1	4.7	2.9	18.4
パートタイム労働者	100.0	13.0	4.5	49.7	19.0	7.8	6.1	36.4	23.1	29.5	1.7	11.8	33.6	8.0	3.0	3.4
臨時労働者	100.0	20.1	2.0	55.5	23.8	20.1	1.7	29.3	24.9	8.7	11.8	6.5	12.0	12.7	1.7	5.0
派遣労働者	100.0	23.8	18.6	18.3	8.3	12.0	1.8	15.1	13.3	16.7	9.5	37.6	14.7	11.9	2.4	7.6
登録型	100.0	17.1	15.7	22.2	9.5	13.9	1.6	14.9	14.8	17.5	10.8	39.6	16.3	12.8	3.0	5.7
常時雇用型	100.0	32.1	22.2	13.5	6.9	9.7	2.0	15.4	11.5	15.8	7.9	35.1	12.8	10.9	1.8	10.0
その他	100.0	20.0	13.7	19.5	7.1	12.1	1.7	23.1	18.1	23.5	4.7	33.7	15.3	8.0	4.0	8.6

注：1) 正社員及び出向社員については、調査していない。

2) 「就業調整」とは、所得税の非課税限度額及び雇用保険、厚生年金等の加入要件に関する調整を行うことをいう。

3) 平成22年調査は、「家庭の事情（家事・育児・介護等）や他の活動（趣味・学習等）と両立しやすいから」の数値である。

図5 主な正社員以外の就業形態の現在の就業形態を選んだ理由別労働者割合（複数回答3つまで）  
（各就業形態の労働者のうち、回答があった労働者=100）



注：現在の就業形態を選んだ理由については、「正社員以外の労働者（出向社員を除く）計」の上位8つまでを掲載している。

## (2) 今後の就業に対する希望

正社員以外の労働者について、今後の就業に対する希望をみると、「現在の会社で働きたい」が71.8%（前回73.9%）、「別の会社で働きたい」が14.2%（前回12.6%）などとなっている。

就業形態別にみると、「現在の会社で働きたい」は「嘱託社員（再雇用者）」での81.1%、「出向社員」での79.1%などが、「別の会社で働きたい」は「派遣労働者」での26.8%が高い割合となっている。（表16）

また、「今後も会社で働きたい」と回答した正社員以外の労働者について、今後の働き方に対する希望をみると、「現在の就業形態を続けたい」が65.4%、「他の就業形態に変わりたい」が34.0%となっており、「他の就業形態に変わりたい」とする正社員以外の労働者の希望する就業形態の内訳は、「正社員に変わりたい」が30.8%、「正社員以外の他の就業形態に変わりたい」が3.1%となっている。

就業形態別にみると、「現在の就業形態を続けたい」は、「嘱託社員（再雇用者）」、「パートタイム労働者」、「出向社員」でそれぞれ81.4%、73.3%、72.6%と高い割合となっている。一方、「他の就業形態に変わりたい」は、「契約社員（専門職）」、「派遣労働者」でそれぞれ55.6%、55.5%と高い割合となっており、その希望する就業形態の内訳は、「正社員に変わりたい」がそれぞれ53.9%、48.2%、「正社員以外の他の就業形態に変わりたい」がそれぞれ1.7%、7.2%となっている。（表17、図6）

表16 性・正社員以外の就業形態、正社員以外の労働者の今後の就業に対する希望別労働者割合  
（単位：％）平成26年

性・正社員以外の就業形態	正社員 労働者計 以外の	今後 も会社 で 働きた い	現在の会社 で 働きた い		独立 して事 業を 始 めた い	仕 事 を 辞 め た い	そ の 他	不 明
			現在 の 会 社 で 働 き た い	別 の 会 社 で 働 き た い				
正社員以外の労働者計	100.0	86.1	71.8	14.2	2.2	3.4	7.1	1.2
前回〔平成22年〕	100.0	86.5	73.9	12.6	2.3	3.0	7.2	1.1
男	100.0	82.8	69.0	13.9	3.8	4.0	7.5	1.9
女	100.0	87.9	73.5	14.4	1.3	3.1	6.9	0.8
正社員以外の就業形態								
出向社員	100.0	91.2	79.1	12.1	2.2	1.8	3.6	1.1
契約社員（専門職）	100.0	88.4	74.6	13.8	2.2	2.9	5.5	1.0
嘱託社員（再雇用者）	100.0	85.5	81.1	4.4	0.8	7.8	4.5	1.5
パートタイム労働者	100.0	86.1	72.7	13.4	2.1	3.2	7.4	1.3
臨時労働者	100.0	78.4	66.7	11.7	2.5	5.1	13.3	0.8
派遣労働者	100.0	85.3	58.4	26.8	3.3	2.8	7.6	1.0
登録型	100.0	83.8	56.9	26.9	3.3	2.3	9.4	1.3
常時雇用型	100.0	86.9	60.3	26.7	3.4	3.5	5.5	0.7
その他	100.0	86.1	67.9	18.2	2.8	2.7	7.4	1.0

注：派遣労働者は、派遣元での状況について回答している。

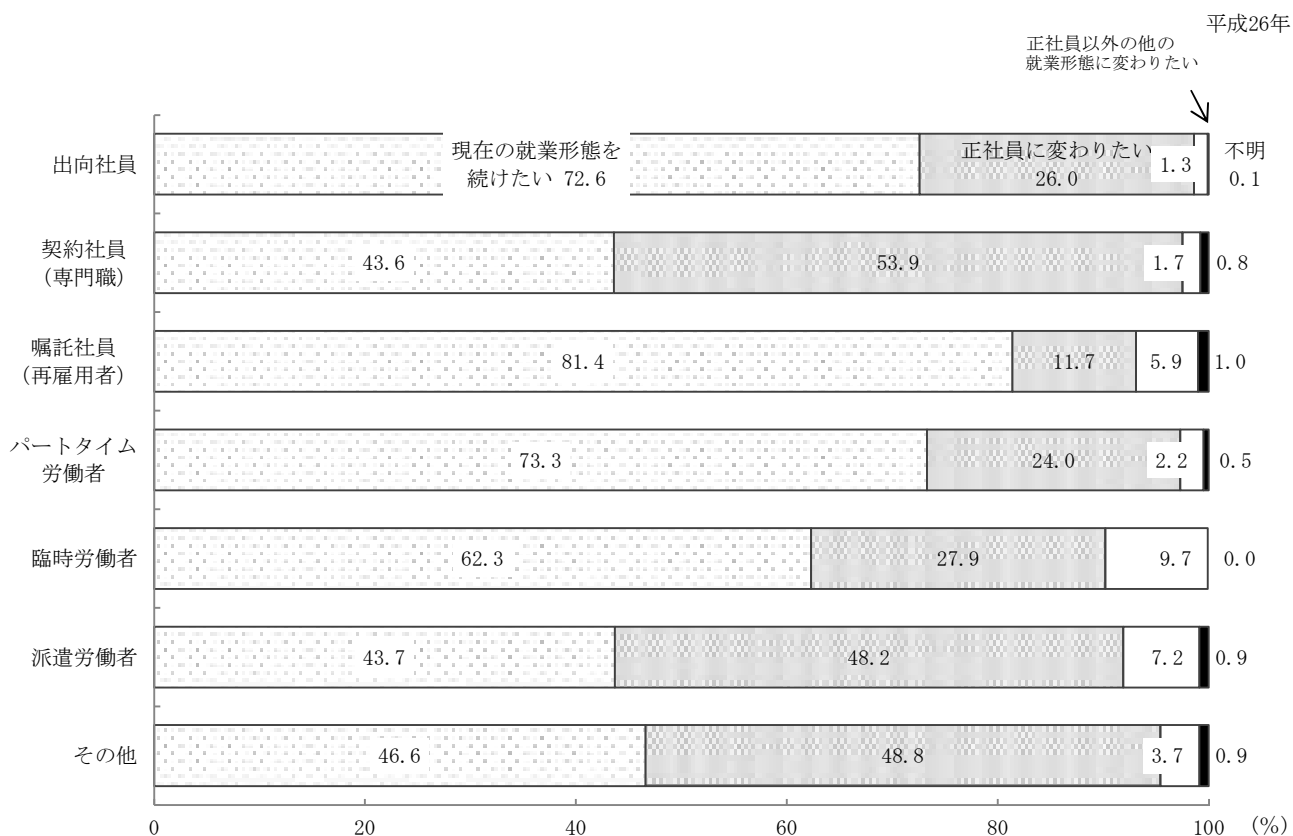
表 17 性・正社員以外の就業形態、今後も会社で働きたいとする正社員以外の労働者の働き方の希望別労働者割合

(単位：%) 平成26年

性・正社員以外の就業形態	今後も会社で働きたい正社員以外の労働者計						不明
	現在の就業形態を続けたい	他の就業形態に変わりたい	正社員に変わりたい	正社員以外の他の就業形態に変わりたい			
正社員以外の労働者計	[ 86.1 ] 100.0	65.4	34.0	30.8	3.1	0.6	
前回 [ 平成 22 年 ]	[ 86.5 ] 100.0	69.8	29.1	25.7	3.4	1.2	
男	[ 82.8 ] 100.0	59.7	39.8	36.9	2.9	0.5	
女	[ 87.9 ] 100.0	68.5	30.8	27.6	3.3	0.7	
正社員以外の就業形態							
出向社員	[ 91.2 ] 100.0	72.6	27.3	26.0	1.3	0.1	
契約社員(専門職)	[ 88.4 ] 100.0	43.6	55.6	53.9	1.7	0.8	
嘱託社員(再雇用者)	[ 85.5 ] 100.0	81.4	17.6	11.7	5.9	1.0	
パートタイム労働者	[ 86.1 ] 100.0	73.3	26.2	24.0	2.2	0.5	
臨時労働者	[ 78.4 ] 100.0	62.3	37.7	27.9	9.7	0.0	
派遣労働者	[ 85.3 ] 100.0	43.7	55.5	48.2	7.2	0.9	
登録型	[ 83.8 ] 100.0	38.9	60.7	50.8	9.9	0.5	
常時雇用型	[ 86.9 ] 100.0	49.1	49.6	45.4	4.2	1.3	
その他	[ 86.1 ] 100.0	46.6	52.5	48.8	3.7	0.9	

注：[ ]は、正社員以外の労働者を100とした今後も会社で働きたい労働者の割合である。

図 6 今後も会社で働きたいとする正社員以外の労働者の働き方の希望別労働者割合  
(今後も会社で働きたい正社員以外の労働者計=100)



### (3) 正社員になりたい理由

正社員に変わりたいと回答した正社員以外の労働者について、正社員になりたい理由（複数回答3つまで）をみると、「より多くの収入を得たいから」が78.0%（前回72.2%）、「正社員の方が雇用が安定しているから」が76.7%（前回77.0%）となっており、また、いずれの就業形態でもこれらの理由が高い割合となっている（表18、図7）。

表18 性・正社員以外の就業形態、正社員になりたい理由別労働者割合

性・正社員以外の就業形態	正社員以外の変り労働者計	複数回答3つまで（単位：％）平成26年								
		正社員になりたい理由								
		より多くの収入を得たいから	正社員の方が雇用が安定しているから	キャリアを高めたいから	より経験を深め、視野を広げたいから	自分の意欲と能力を十分に活かしたいから	専門的な資格・技能を活かしたいから	家庭の事情（家事・育児・介護等）の制約がなくなる（なくなった）から	その他	不明
正社員以外の労働者計	[ 90.8 ] 100.0	78.0	76.7	15.1	24.6	22.2	14.6	13.3	4.5	0.5
前回 [ 平成 22 年 ]	[ 88.4 ] 100.0	72.2	77.0	17.2	23.8	27.9	12.1	8.6	3.6	0.1
男	[ 92.8 ] 100.0	72.9	79.3	18.0	29.2	23.4	19.0	2.1	4.8	0.9
女	[ 89.4 ] 100.0	81.7	74.9	13.0	21.3	21.3	11.5	21.4	4.2	0.3
正社員以外の就業形態										
出向社員	[ 95.3 ] 100.0	46.4	54.1	30.2	32.4	32.6	12.3	0.6	11.3	1.4
契約社員（専門職）	[ 96.9 ] 100.0	68.5	82.6	18.9	27.0	16.8	17.3	5.0	3.7	0.5
嘱託社員（再雇用者）	[ 66.5 ] 100.0	72.0	67.9	12.9	10.2	38.1	21.8	6.6	2.3	0.6
パートタイム労働者	[ 91.7 ] 100.0	86.5	73.7	10.1	24.7	20.9	16.1	22.1	3.2	0.1
臨時労働者	[ 74.2 ] 100.0	61.7	77.7	31.3	19.3	22.3	7.4	9.1	25.0	-
派遣労働者	[ 87.0 ] 100.0	69.5	84.4	17.7	24.4	23.8	12.7	6.8	5.7	0.9
登録型	[ 83.7 ] 100.0	71.4	86.9	15.6	23.2	22.6	10.2	7.7	6.4	1.1
常時雇用型	[ 91.5 ] 100.0	67.2	81.3	20.5	25.9	25.3	15.8	5.6	4.8	0.7
その他	[ 93.0 ] 100.0	77.6	79.0	18.0	24.1	25.1	10.7	6.4	3.6	1.2

注：[ ]は、他の就業形態に変わりたい正社員以外の労働者のうち、正社員に変わりたいと希望する労働者の割合である。

図7 正社員になりたい理由別労働者割合（複数回答3つまで）

（正社員に変わりたい正社員以外の労働者計=100）

